Ritto 市民ネットワーク

# 田村たかみつ 市議会レポート

2015/4/4（土）
No.48
Since:2003.3

発行責任者／田村隆光　〒520-3004　栗東市上砥山 1468-5　TEL:077-558-0241 FAX:077-558-2762

## ごあいさつ

桜の季節となりました。

日本人は桜が大好きですから、特に心弾む季節ではないでしょうか。

さて、早いもので３月定例会も終わり、新年度の予算も執行され、新たな年度の多くの事業がはじまります。

また、市庁舎内では人事異動による新たな配置が決まり、新しい体制で業務にあたることとなります。

さらに、新年度は保育士さんを含め１９名の新規採用の方々が、栗東市で奉職されることとなりますので、フレッシュな風が吹いてくることでしょう。

一方、議会の方も県議会議員選挙に続き、市議会議員の選挙もはじまりますので、各陣営、準備に余念のないことと思います。

私自身も、４期目に挑戦させていただくことを決意し、出馬に向けての準備を進めているところです。

今一度、初心にかえり、「常に主権は市民」ということを忘れずに、「私の仕事」に書かせていただいた思いをしっかりと実現できるよう頑張っていく所存です。

皆様には、今後ますますのご指導ご鞭撻をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

栗東市議会議員
**田村隆光**

## 平成２７年１月以降の主な参加行事

| | |
|---|---|
| １月１日（木） | 元旦祭・元朝祭 |
| １月４日（土） | 九里県議年賀会･上砥山新年賀詞会 |
| １月６日（火） | 商工会年賀会・議会懇談会 |
| １月８日（木） | 青年会議所年賀会 |
| １月９日（金） | 議会改革特別委員会<br>農林業団体年賀会 |
| １月１０日（土） | 滋賀県教職員組合旗開き |
| １月１１日（日） | 消防出初め式・成人式 |
| １月１３日（火） | 公職選挙制度勉強会 |
| １月１６日（金） | 自治労旗開き |
| １月１８日（日） | 耐寒アベックマラソン大会 |
| １月２３日（金） | 商工会金勝支部総会 |
| １月２４日（土） | 生活困窮者に関する勉強会 |
| １月２７日（火） | 議会改革特別委員会<br>環境建設常任委員会 |
| １月３０日（土） | ベーシックインカム勉強会 |
| ２月５日（木） | 全員協議会 |
| ２月７日（土） | 民主党滋賀定期大会 |
| ２月１０日（火） | 上砥山営農組合懇談会 |
| ２月１１日（水） | チーム滋賀総会 |
| ２月１６日（月） | 議会改革特別委員会 |
| ２月１８日（水） | 栗東市森林林業活性化推進委員会 |
| ２月２５日（水） | 平成２７年度当初予算協議会 |
| ３月３日（火） | ３月定例会開会（～２４日） |
| ３月１９日（木） | 金勝第２保育園卒園式 |
| ３月２０日（金） | 金勝小学校卒業式 |
| ３月２１日（土） | 平智之勉強会 |
| ３月２５日（水） | 金勝川水系土地改良区総代会 |

## 栗 東 市 N E W S

### ■ コンビニで納付スタート

本年４月から市の税金・料金を、全国のコンビニエンスストアでお支払いいただけるようになります。

コンビニ利用の場合、店舗の営業時間内であれば、曜日や時間にかかわらずお支払いできます。これまでどおり金融機関や市役所の窓口でも支払い可能ですので、選択肢が広がります。

### ■ 国道８号バイパスに大きな予算措置

慢性的に渋滞する国道８号線の渋滞解消のためのバイパス（野洲栗東バイパス：４．７km）が計画されてから、多くの時間が流れましたが、この２～３年で大きく動き出すこととなりました。出庭地区、宅屋地区、蜂屋地区、大橋地区においては、近年、用地測量や地元説明会などが行われ、用地買収等も進んでいます。

そんな中、国の方からバイパス工事の進捗をより進めるために、総額２５億円（用地債含む／栗東・野洲合計）の補助が国より交付されることがほぼ確定。今後の工事の進捗に期待がかかります。

3月定例会

# 平成２７年度一般会計予算決まる　２３２.９億円

## 前年より約１３億円増　国の施策・台風災害対応・事業進捗が要因

### ■予算の特徴

**①市税関係**

市税収入では、固定資産税、市たばこ税、都市計画税が減収し、法人市民税や個人市民税は一定の伸びを示し、全体で前年比０・７％（約９千万円）の増となりました。

**②地方交付税**

平成２７年度も交付団体(※)の見込みであり、普通交付税、特別交付税併せて２億３千万円を計上。

（※）自前の財政が豊かで国から**交付**税を受けない自治体のことを「不交付団体」と言いますが、栗東市は昭和５８年から２７年連続で不交付団体でしたが、平成２２年から財政危機に陥った事で、現在「交付団体」として国からの交付税を受けています。地方**交付**税には、普通**交付**税と災害などの特別な財政需要に対応する特別**交付**税があります。普通**交付**税は、道路や施設の整備、行政サービスなど、自治体の必要経費を算出した基準財政需要額から、自治体の税収などを差し引き、不足分を国が補う制度です。

**③国や県からの補助金等**

市政を運営する上で、国や県の施策や事業によるものは、それぞれ負担金や補助金、そして委託金として、補助金が交付されますが、今年度は、国庫負担金を約３０億円（昨年度より約４億円減）、県の負担金を約１３億円（昨年度とほぼ同額）と見込んでいます。

**④市債発行**

市債（地方債）とは、市単独による街路事業や市営住宅の維持管理、小学校の大規模改造、防災無線の整備等々、公共施設などの整備の資金を金融機関等から借入れ、一会計年度を超えて返済していくものですが、今年度は１５億円（昨年度は約１０億円）ほどを計上しています。

### ■おもな事業予算

**◎後継プラン**
＊新駅跡地のまちづくり事業
国　３億７３００万円
基金　８５００万円
借金　４億４０００万円

**◎有害鳥獣防除事業**
１７００万円

**◎学童保育所管理運営費**
＊利用対象を全小学生まで拡大し、開所時間の延長と葉山東学童保育所を増築
国　６２４万円
県　７８９０万円
市　４４５５万円
借金　２４０万円
ほか　５８万円

**◎妊婦健康診査事業**
＊妊婦一般健康診査委託
８６００万円
＊特定不妊治療費助成
６５５万円
＊本年度から妊婦健康診査の基本検診にかかる助成を拡大。（１回３千円１４回分）

**◎乳幼児福祉医療費助成事業**
＊本年１０月より就学前までの乳幼児の医療費を無料化
県　５９００万円
市　８６５０万円
他　６９６万円

**◎教育施設改修事業**
＊小中学校の体育館の耐震、大宝西小学校のエレベーター設置、金勝小学校の大規模改修など
国　１億６７００万円
市　７０００万円
借金　３億６０００万円
ＪＲＡ寄付　８２０万円

**◎コンピューター推進事業**
＊公務用パソコン４５０台更新

**◎生活困窮者自立支援事業**
＊生活困窮者に対しての自立・家計診断、学習支援を実施。
国　１２６０万円
市　７３５万円

**◎予防接種等事業**
＊高齢者インフルエンザ自己負担の軽減
自己負担　１０００万円
市　２億１８８０万円

**◎一般廃棄物処理委託事業**
＊環境センター管理運営費
＊一般廃棄物収集委託ほか
県　７３万円
手数料　２億５０００万円
市　２億８８００万円

**◎学校給食共同調理場管理運営経費**
＊給食費　２億２９００万円
＊市　１億５８５０万円

**◎ＪＲ栗東駅西口のエレベーター基本設計**
１５００万円

**◎マイナンバー制度対応**
１億９００万円

**◎県議会議員選挙**
１４００万円

**◎市議会議員選挙**
３８００万円

## 平成27年度　会計別当初予算額比較

| 会計名 | 平成27年度 | | 平成26年度 | | 増減 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 予算額 | 構成比 | 予算額 | 構成比 | |
| 一般会計 | 232億9,000万円 | 59.5% | 220億 600万円 | 59.9% | 5.8% |
| 特別会計 | 158億5,800万円 | 40.5% | 147億5,700万円 | 40.1% | 7.5% |
| 土地取得特別会計 | 6億6,402万円 | 1.7% | 1億9,652万円 | 0.5% | 237.9% |
| 国民健康保険特別会計 | 60億6,621万円 | 15.5% | 51億 740万円 | 13.9% | 18.8% |
| 介護保険特別会計 | 31億6,829万円 | 8.1% | 29億7,267万円 | 8.1% | 6.6% |
| 栗東墓地公園特別会計 | 528万円 | 0.0% | 527万円 | 0.0% | 0.1% |
| 大津湖南都市計画事業栗東駅前土地区画整理事業特別会計 | 5,790万円 | 0.2% | 6,421万円 | 0.2% | －9.8% |
| 大津湖南都市計画事業栗東新都心土地区画整理事業特別会計 | 8,321万円 | 0.2% | 8,533万円 | 0.2% | －2.5% |
| 水道事業会計 | 19億7,215万円 | 5.0% | 20億9,801万円 | 5.7% | －6.0% |
| 公共下水道事業会計 | 32億9,314万円 | 8.4% | 37億 473万円 | 10.1% | －11.1% |
| 農業集落排水事業特別会計 | 3,248万円 | 0.1% | 3,049万円 | 0.1% | 6.5% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 5億1,532万円 | 1.3% | 4億9,237万円 | 1.3% | 4.7% |
| 合計 | 391億4,800万円 | 100.0% | 367億6,300万円 | 100.0% | 6.5% |

## 個人質問

近年、短時間集中豪雨（いわゆるゲリラ豪雨）が各地で多発しており、川の氾濫や下水の逆流により、多くの人命や財産が失われています。
雨水の貯留・浸透の推進は、洪水被害の低減につながります。「流せば洪水、貯めれば資源」ということで、今回は「雨水（あまみず）」の活用について聞きました。

**Q:** 近年、気候変動の影響もあり1日の降雨量が100ミリ以上となる大雨の日数が増加し、都市化が進む中、道路や駐車場などアスファルトやコンクリートに覆われた場所では、大雨が降ると地下に浸透せず、側溝等からの排水も処理能力を超え、水害が発生しやすい状況にある。そんな中、雨水は「流せば洪水、受けてためれば資源」という考え方に立ち、国は限りある水資源の有効活用を昨年、法的に整備した。栗東市の雨水活用の取り組みについて伺う。

**A:** 雨水活用の施策と実施計画は県の状況を見極め検討する。また、区画整理事業や大規模開発においては、これまで調整池等により浸水災害の軽減を図っているが、貯水後の活用は対応できていない。民間の新たな開発においては雨水の流出時間を遅延させ浸水被害の軽減を目的として、建築物からの雨水排水処理にあたり雨水貯留タンクの設置に努めるよう指導している。

**Q:** 浸水が常態化している安養寺地区にピットを設置し、浸水対策を図るとのことだがその規模は。

**A:** 平成27年度に安養寺北街区1号線内に、内幅1・8メートル×1・8メートル、深さが2・9メートルの規模のコンクリート製のピットを道路地下に設ける。
その中に、直径150ミリメートルの排水ポンプを設置し、葉山川までの約110メートルの間、道路下に圧送管を埋設して強制排水する。

**Q:** 雨水タンクの設置補助を2年で廃止する理由は。法的に雨水の貯水を後押ししているのではないか。

**A:** この法律の趣旨を鑑みながら、市民が取り組んでいただく部分、環境基本計画に掲げる目的に沿った形で、貯留タンクそのものの助成制度を維持するのではなく、循環型社会の実現に向けた取り組みの中で、検討していきたい

# ４年任期の総括と今後の方針

## はじめに

私の３期目の任期のスタートは、あの３・１１の東日本大震災直後から始まりましたが、選挙自体は定数通りの立候補ということで無投票による決着でした。

私の３期目のテーマは、「オールキャストのまちづくり」。

これは、まちづくりは行政の仕事だけではなく、そこに住む市民一人ひとりが自分の役割を持ち、ともにまちづくりを行うことであるという強い思いからこのテーマになったわけですが、イメージとしては、映画のラストにながれるエンドロールのように、様々な活動に参加した市民一人ひとりの名前が、ものにも心にも刻まれるようなまちづくりをしたいとの思い活動した４年間でした。

## 【議会・議会活動】

議会での所属委員会は「環境建設常任委員会」で、委員長をさせて頂きました。また、産業廃棄物最終処分場対策特別委員会にも所属し、ＲＤ産廃処分場の対策について審査してきました。また、議会改革特別委員会、そして、土地開発公社の理事、都市計画審議会委員の担当になるなど、これまでの３期１２年の中では、一番忙しく、また充実した４年間でした。

その中でも、ＲＤ産問題については、時間の経過とともに解決に向けた地元住民との幾度にもわたる協議が進められ、県としても環境省の助言を得て、問題解決へと動き出しました。

しかし、私個人としては、決して楽観視している訳ではありませんが、特にこの２年間、住民と県とで組織する連絡協議会にお任せで、個人質問を始め以前ほど積極的な活動を取っていないことは大きな反省として残っています。

つぎに、議会改革については、３期目のマニフェスト「私の仕事」にも掲げた「議会基本条例」の制定に漕ぎ着けたことは達成感を感じますが、あとはこの条例をどう生かしていくかの課題が残っています。まだまだ改革の余地は残されていますので引き続き取り組んでいきたいと考えています。

つぎに、土地開発公社問題では、新幹線の新駅が中止になって土地開発公社の経営が困難になり、広大な土地（約11ha）が塩漬けになった訳ですが、それらの土地の簿価が約１６５億円にのぼり、その返済を栗東市が債務保証をしている関係上、市の財政を圧迫。その対策として、土地開発公社を解散し、その借金を国の三セク債を活用し返済していくという事案に携われたことは貴重な経験となりました。

## 【個人的活動】

５年ほど前から、次世代エネルギーへの興味から、菜の花プロジェクト（代表：藤井絢子氏）に参加し、菜種を活用したバイオ燃料の取り組みのために福島県須賀川市での菜種の種まきなどを行ってきていましたが、東日本震災以降は、毎年、福島県の南相馬市、須賀川市、いわき市で地元の学生も含め、放射能汚染等から耕作放棄となった土地に、菜種を蒔き、復興のお手伝いをさせていただくなど、新たな出会いと貴重な経験につながっています。

## 【これから】

最後に、栗東市のことだけではなく国の行く末にも不安を感じています。いま政府は、かつてないほど、情報操作を含め、国民をないがしろにした政治を行っています。

個人的には、①原発問題と次世代エネルギー、②憲法の改正、③沖縄問題について広く議論する場が欲しいと思っています。

原発問題においては、私は、あの福島原発事故を目の当たりにし、原子力技術は核廃棄物の処理の技術が世界のどこでも未だに整っていないこと、また、その処理にはとてつもなく多くの時間を要するということ、そして、安全神話が崩壊した今、一度事故が起きれば、人間の今の技術では到底制御できない事態になってしまうことがわかったことを認識すべきです。

また、憲法の問題は、「改正」というとイコール「９条の改正」に特化した議論になってしまいがちですが、憲法全体を見た中での現実と条文との関係が、時代や世界の情勢とマッチしているのかを検証すべきと考えます。

そして、沖縄問題は、いま何と言っても政府の対応が異常です。あの理不尽な地位協定を押し付けたままで、沖縄県民の民意を無視した政府の対応には怒りを覚えます。

４期目のテーマは、「このまちが好きだから～未来の生まれる場をつくる～」ですが、まず、立ち位置としては、議員としては、議会内で一切の役職を持たず、１票の採決権を持った議員として、自分の理念に基づき活動する４年としたいです。

そして、活動内容としては、栗東市政への関与は当然のことですが、原発問題、憲法改正問題、基地移転を含む沖縄問題について、栗東市民の皆さんとともに、事実に基づく、そして右や左に偏らない情報を共有し、ともに学べる場を創りたいと考えています。（詳しくは、「私の仕事」をご参照ください）

いずれにしても、「常に主権は市民」を忘れずに頑張っていく所存ですので、叱咤激励のほどよろしくお願い致します。